

心理学講座4回シリーズ

「今」に活かせ、心理学。

～現代を生き抜くために～

主催： 一般財団法人 愛知総合 HEAR センター

開催日時：2017年9月24日(日)・11月5日(日)・12月17日(日)・2018年3月4日(日)

開催場所：布池文化センター 3号館 セシリアホール

時間：1部 10時～12時(講演)

2部 13時～15時(ワークショップ)

～開催にあたって～

時代は大転換期と言われています。少子化が進み、産業界ではスピードをあげ、世界に負けないイノベーションと人材育成の目標を掲げて真剣に取り組んでいます。このような中、見えない世界に取り組んできた心理学は、広く社会問題に現実的に参与し、提言していく時ではないかと感じてきました。人間は見える世界だけに生きておらず、行動には意志とその人間固有の歴史ある心の世界を伴っています。方法論ではなく、心理学の原点に学び、何を転換するのか、何が大事なのか、何を求めているのか、人間はどのように平和をつかめるのか。心理学の視点から考えてみたいと思います。それぞれ心理学の専門分野でご活躍されておられる著名な講師陣をお招きしました。様々なお立場の方々との意見交流の機会となりますことを願っております。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

一般財団法人 愛知総合 HEAR センター 理事長 小瀬木尚美

第1回 こころが渴いたら、ユングと語ろう。

～ユング分析心理学を学ぶ～

日時：2017年9月24日(日)

講演者：吉野要

所属：一般財団法人 愛知総合 HEAR センター 理事・元金城学院大学 教授

略歴：京都大学大学院教育学研究科修士課程を修了後、名古屋市立大学精神科医局、愛知県立大学、愛知県立女子短期大学を経て、金城学院大学院教授に就任。その間、元文化庁長官河合隼雄氏に教育分析を受け、スイスにあるユング研究所に留学。また、国立病院機構名古屋医療センターでは、40年余り臨床現場に立ち、看護師教育や倫理委員会にも携わっています。

2011年4月より医療法人純和会産業精神保健（IMH）研究所常任顧問、2013年1月より同研究所所長に就任。臨床現場に立ち、企業外来を中心に働く方のカウンセリングをしながら、院内での看護師、作業療法士、臨床心理士、学校心理士等の教育をしてきました。2015年3月医療法人純和会を退職し、4月から母子支援に取り組んでいます。

講演概要：毎日、もやもやしなながら、哀しみが隠れている怒りに囚われて、なんとかしないといけないとあれこれ探すが、何もできることがみつからず、無力感や不全感に噴まれているのでしょうか。

私は、ユングの分析心理学を学んでいます。ユングは”意識”と”無意識”とが相補いながら、人間としての均衡が取れた”まとまり”を持つことができると言っています。私は、ユングが言っているところの最奥にある根源的な力(『元型』と言われています)に、現在の私たちの”救い”があると感じています。

第2回 学ぼう、身近な組織の心理学。

日時：2017年11月5日(日)

講演者：金井篤子

所属：名古屋大学大学院教育発達科学研究科 教授

略歴：名古屋大学教育学部教育心理学科卒業後、民間会社にて人事教育関係の職務を担当。その後、名古屋大学大学院教育学研究科修士課程発達臨床学専攻入学、同博士課程後期課程進学。同課程を中退後、名古屋大学教育学部助手、助教授を経て、現在、名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授および名古屋大学心の発達支援研究実践センター長。博士（教育心理学）、臨床心理士。2013年度から2015年度まで産業・組織心理学会会長、現在は常任理事。

講演概要：私たちには一人でできることもたくさんありますが、人と人が協力し合わないといけないこともたくさんあります。目的を持った人の集まりを「組織」と呼びます。「組織」の代表格は企業ですが、そうでなくても、私たちはいろいろな「組織」に所属しています。本講座では、組織ならではの人のこころの動きに焦点を当て、心理学のさまざまな知識を得ることで、私たちの身近な組織を解き明かし、理解を深めます。

第3回 暴力とは、他者の主体性を自分の意志のもとにおくこと。

～自己愛と他者性、怒りの精神分析～

日時：2017年12月17日(日)

講演者：富樫公一

所属：甲南大学文学部人間科学科 教授・栄橋心理相談室

略歴：米国 NY 州精神分析家ライセンス、臨床心理士、NAAP 精神分析学会認定精神分析家、博士（文学）。2001 から 2006 年にニューヨークの NAPA 精神分析研究所、TRISP 自己心理学研究所で訓練を受ける。現在、甲南大学文学部教授、TRISP 自己心理学研究所(NY)ファカルティ・教育分析家・スーパーヴァイザー、栄橋心理相談室（広島）と JFPSP（神戸）、サイコセラピープロセス研究所（東京）で臨床を行う。国際自己心理学会(IAPSP)評議委員・『Psychanalysis, Self and Context』誌 編集委員、日本精神分析学会編集委員。近著に『Kohut's Twinship Across Cultures: The Psychology of Being Human』(2015)『不確かさの精神分析』(2016)、『臨床場面での自己開示と倫理』(2016) など。そのほか、日本、アメリカ、台湾で論文を多数発表。

講演概要：DV、虐待、ストーカー、ハラスメント、いじめ、ネット炎上など、人を脅かす様々な暴力があります。こうした暴力の背景には何があるのでしょうか。精神分析は、そこには、他者の意志や主体性を自らの意志のままに動かすことができるという幻想があり、そして、それが満たされないことへの計り知れない怒りがあると考えます。精神分析は、人が他者の主体性を自分の一部のように体験することを自己愛と呼び、他者の主体性を自分の主体性のもとにおくことを暴力と呼びます。本講演では、自己愛と暴力のメカニズムについてお話しして、それに対する対応方法を皆さんと一緒に考えます。

第4回 「安全・安心する生活空間」から「つながる社会」を目指して

～コミュニティ心理学で家庭・学校・職場・地域のこれからの学ぶ～

日時：2018年3月4日(日)

講演者：笹尾敏明

所属：国際基督教大学教養学部大学院 教授

略歴：北海道出身。1997年より、国際基督教大学教養学部大学院教授（心理学、教育学、平和研究）。現在、同大学平和研究所長、平和研究プログラムディレクター。米国・南カリフォルニア大学博士号（Ph.D.）、米国・ワシントン大学理学士号(B.S.）、教育学修士号(M.Ed.)取得。UCLA、イリノイ大学シカゴ校、南カロライナ大学、オポーレ大学（ポーランド）、延世大学校（韓国）等にて、教鞭・研究を歴任。アメリカ心理学会フェロー、ザルツブルググローバルセミナー・フェロー。中央大学大学院、法政大学グローバル教養学部、筑波大学大学院にて兼任講師を担当。

講演概要：子どもからお年寄りまでが安全・安心して生活できる空間とはどのようなことでしょうか。それを作りあげ、維持するにはどうしたらいいでしょうか。家庭や学校・職場や地域が抱える様々な問題を予防・解決するため、私たちは何ができるのでしょうか。従来の、個人を対象とした心理学やカウンセリングとは一線を画す「コミュニティ心理学」。ここでは、「安全・安心する生活空間」から脱却して、皆さんと共に生きていく「つながる社会」とはいかなるものか、その構築を模索していきます。「コミュニティ心理学」の成り立ち、基礎概念、現状と課題、事例研究などをおりまぜて学んでいきます。一緒に勉強してみませんか。

【申し込み方法】

① ホームページにアクセスする。

ホームページ hear-aichi.com にアクセスしていただき、「心理学講座4回シリーズ 『今』 に活かせ、心理学。詳細はこちら」を開いてください。

② メールまたは FAX で申込書を送信する。

メールをお使いの場合：

エクセルファイルをダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、MAIL：hear.aichi2017@gmail.com (参加申込・問い合わせ専用メール)に添付してご送信下さい。

*また、上記の方法が難しい方は、メールの本文に、

<1> 氏名 <2> 所属 <3> 一般または学生 <4> 臨床心理士番号(臨床心理士の方のみ) <5> 郵便番号
<6> 住所 <7> メールアドレス <8> 電話番号 <9> 参加日 <10> 参加費の合計金額
をご明記の上、上記のメールアドレスに送信してお申し込み頂くことも可能です。

FAX をお使いの場合：

PDF ファイルをダウンロード、印刷していただき、必要事項をご記入の上、FAX：[052-932-9337](tel:052-932-9337) でお送り下さい(文字は鮮明にお書きください)。

③ 受付確認メールを受け取る。

受付確認のメールをお送りします。1週間経っても届かない場合はお手数ですが、愛知総合 HEAR センターまでご連絡下さい。

*定員(各回 100 名)を超えた場合は、お断りすることがございます。あらかじめご了承ください。

④ 参加費を振り込む。

参加費の合計金額を指定の口座へお振り込みください(詳細は下記参照)。

⑤ 受付完了メールを受け取る。

受付完了のメールをお送りします。1週間経っても届かない場合はお手数ですが、愛知総合 HEAR センターまでご連絡下さい。

申し込みは、受付完了メールをもって完了となります。

【参加費】

◆ 4回分前納の方は 20,000 円(学生は 10,000 円)です。

◆ 1講座ずつでお申し込みの方は、1講座 6,000 円(学生は 3,000 円)です。

例)一般の方で3講座の場合：18,000 円

〈〈振込先〉〉

三菱東京 UFJ 銀行 覚王山支店(264) 普通

口座番号：0082316

一般財団法人 愛知総合 HEAR センター

〈〈参加費のお振込に関するお願い〉〉

*お振込みの際、できる限り個人名でご記入ください。やむを得ず、会社名でお振込の場合は、法人名を省いてご記入ください。

例)「一般財団法人 愛知総合 HEAR センター」 → (お振込の際は)「アイチソウゴウヒアセンター」

*また、お名前の前に受付番号を必ずご入力ください。

例：受付番号が 1234、山田太郎様の場合→「1234 ヤマダタロウ」とご入力ください。

*振込手数料は参加者のご負担となります。

*キャンセルによる返金はできませんので、ご了承ください。

【申し込みと参加費振込の期限について】

◆申し込みと参加費の振込の期限は、下記をご参照下さい。

	お申込み期限	お振込み期限
4回一括前納	9月 3日(日)	9月 7日(木)
第1回 9月 24日(日)	9月10日(日)	9月18日(月)
第2回 11月 5日(日)	10月15日(日)	10月23日(月)
第3回 12月 17日(日)	11月26日(日)	12月 4日(月)
第4回 3月 4日(日)	2月11日(日)	2月19日(月)

【臨床心理士ポイントについて】

◆本講座は、要件を満たした場合、臨床心理士資格更新のためのポイントを取得できるワークショップとして臨床心理士資格認定協会に申請予定です。その場合、午前と午後の両方の参加が必要となります。

【対象】

◆心理学に興味のある方

【注意事項】

◆ワークショップの内容は、随時お知らせさせていただきます。

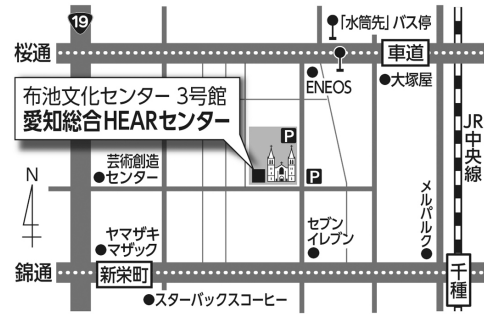
◆昼食は各自でご持参ください。

◆公共交通機関をご利用ください。やむを得ずお車でお越しの場合は、近隣のコインパーキングをご利用ください。

◆エレベーターはございません。あらかじめご了承ください。

【交通アクセス】

- ◆地下鉄 東山線「新栄町」「千種」、
桜通線「車道」より徒歩 8 分
- ◆JR 中央線「千種」より徒歩 8 分
- ◆市バス 栄 15 系統「水筒先」バス停より徒歩 3 分



【お問い合わせ先】

一般財団法人 愛知総合 HEAR センター

住所：〒461-0004 名古屋市東区葵1丁目12-23 布池文化センター3号館

TEL/FAX：052-932-9337

MAIL:hear.aichi2017@gmail.com

HP:hear-aichi.com

担当: 今井・綾村・佐藤